

玉井小だより

平成28年2月26日
大玉村立玉井小学校
TEL(48)3302
発行者 校長 佐藤一男

いよいよ1年生があいさつ運動に立っています



【体育館北側の梅が咲きました】

『全校生で取り組むあいさつ運動』のスローガン

『あいての^{かお}顔を見て
心^{こころ}をこめて
あいさつしよう!』

25日の昼の校内放送で「東風吹かば^{こち} 匂い^{にお}おこせよ梅の花^{あるじ} 主^あなしとて春な忘れそ」という菅原道真の短歌が紹介されました。少しずつ暖かくなり、ついうれしくなります。

今週は1年生が、あいさつ運動に立っています。小さな1年生が大きな6年生を見上げて、「おはようございます。」と元気に声をかけています。しっかりと相手の顔を見てあいさつをしています。

1年生に「おはようございます。」と声をかけられると、あいさつを返さずにはられません。あいさつの輪が全校に広がっています。



【緊張気味の1年生】

あいさつ運動に立った1年生の感想です。

『寒かったけど、スッキリしました。』

『大きな声であいさつできて、よかったです。』

『みんな、あいさつしてくれて、うれしかったです。』

『上の学年の人にもあいさつをするので、緊張しました。』

『みんな元気にあいさつしてくれたので、楽しかったです。靴をそろえるのも、やりたいです。』

あいさつ運動に立っていたとき、6年生が、靴箱の靴をきれいに揃えていたのをしっかりと見ていたのです。それで「靴揃え」もやりたいと言っているのだと思います。あいさつと一緒に、思いやりの輪も広がっているようです。

「幼稚園の一日入学」でとても緊張していた1年生

2月16日(火)、玉井幼稚園の年長組の子供たち52名が、小学校に「一日入学」にやってきました。1年生が幼稚園の子供たちになわとびや剣玉、お手玉をやって見せたり、

〈裏へ続きます〉

たし算や引き算、英語のクイズを出したりしました。音楽の発表もありました。幼稚園の子供たちは、入学が待ち遠しいのでしょうか、どの子にもここに楽しそうでした。

それに比べ、緊張していたのは1年生でした。うまく発表できるかなという心配もあったのですが、どうもそれだけではないようです。

「数字の1は、英語で何と言うのでしょうか?」「2は何と言うのでしょうか?」「3は?」と問題を出すと、幼稚園の子供たちがすかさず「ワン」「ツー」「スリー」とすぐに答えました。その他の数字も簡単に答えてしまいました。

さらに問題が続きました。「カボチャは英語で何と言うのでしょうか?」すると「パンプキン」と難なく答えてしまうものですから、1年生もあつけにとられたのか、調子を崩してしまったようです。

1年生は、「これは、まずいぞ……。何でこんなにできるの……。」と内心思ったようなのです。

1年生は、小学校では今まで一番下の学年です。自分より下の子はいません。ある意味安心していられたのですが、今度はそうはいきません。英語ができたり、たし算ができたりする子が1年生に入学してくるのです。「うかうかしてられないぞ……。」と感じたのではないのでしょうか。

そういう経験を通して、2年生への心の準備をしていくのだと思います。

一日入学を「やってもらった」園児はもちろんいい勉強になったと思いますが、それを「やってあげた」1年生の方にこそ大きな学びがあったのではないかと思います。

2年生へ進級する心の準備をさせてもらったのは1年生の方だったのかもしれない。



【引き算や時計の問題です】



【英語でなんて言うの?】

連絡とお願い

インフルエンザが流行っています。本日26日(金)のインフルエンザによる出席停止児童は15名、発熱等による欠席が6名です。4年2組については、昨日25日(木)まで、学級閉鎖の対応をとりました。

家庭でも、朝の段階で、お子さんの健康状態をていねいにみていただき、熱があつたり、体調が悪かつたりしたときは、無理して登校させず、必ず医療機関を受診するようお願いいたします。また、週末の土曜日、日曜日にインフルエンザの診断がでた場合は、月曜日を待たずに、すぐに担任へ連絡してください。蔓延の心配がある場合は、月曜日からでも「学級閉鎖」等の対応をとりたいと考えています。よろしく申し上げます。